



## 地方人口ビジョン

中長期展望（2040年を視野）

### <目指すべき将来の方向>

#### 【基本的視点】

- ◎若年層・壮年層を中心とした定住・定着の促進
- ◎若い世代の就労・結婚・子育てなどの生活環境の充実
- ◎個性豊かで活力に満ちた地域社会の形成

### 人口の将来展望

<本市人口の長期見通し>  
 社会保障人口問題研究所（社人研）推計  
 ○人口 2040年 20,244人

### ◎伊豆市の新しいチャレンジ

◆合計特殊出生率の向上  
 ・現状(2012年)1.25を **2020年に1.69へ**

◆社会減の抑制  
 ・社人研推計の**65%程度に抑制**

### <目指すべき姿>

◎2040年 **23,000人の人口を確保**  
 ~魅力あふれる地域の創造~

## 総合戦略（2015～2019年度の5か年）

### 戦略体系

#### 戦略

### 1. 地域の特性を活かして「しごと」を生み出すまち

<産業力強化と伊豆市ブランドの確立>

総合産業である観光を中心に「稼ぐ力」を強化し、幅広い業種に「しごと」を広げるため、地域資源や特色を活かして、その個性を磨き上げ、観光地としてのブランド力を向上させることにより、国際的な観光文化環境都市を目指す。

#### 戦略

### 2. すべての世代がいいきと暮らし続けられるまち

<笑顔あふれる子育てタウンの創生>

安心して子供を産み育てられるよう、結婚から妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援を進めるとともに、魅力ある学校環境の整備や特色ある教育により、心豊かな子どもを育成する。また、多世代交流を促進し、幸せを実感できるまちづくりを推進する。

#### 戦略

### 3. 自然環境と調和した持続可能なまち

<コンパクトタウン&ネットワークの推進>

市民にとって“住み続けたい”と思える「まち」となるよう、安心安全な魅力ある中心市街地を形成するとともに周辺地域に地域振興拠点を整備する。また、交通ネットワークを強化するとともに、道路交通網を整備することにより、機能的で利便性の高い持続可能なまちづくりを進める。

### 戦略の具体化を図る取組

#### 総合戦略プロジェクト名

#### 取組み内容

#### 2020成果目標（KPI）

①観光ブランド力創生プロジェクト	日本版DMO設立と観光ブランド化の推進 半島全域で取り組む伊豆観光の再生 東京オリンピック・パラリンピックを契機とした訪日外国人誘客強化 産業力強化会議の設立・民営化	年間観光交流客数 年間450万人 観光客一人当たりの観光消費額 1千円増額 年間外国人宿泊者数 10万人増加 年間スポーツ交流人口 5万人増加 オリンピック事前合宿の誘致件数 延べ10件
②“森と農”活力創造プロジェクト	農林水産業の競争力強化と成長産業化 6次産業化による「食」のブランド化の推進	市内新規就農者数 延べ5人 市内林業新規就業者数 延べ8人
③商品価値・販売力向上プロジェクト	販路拡大事業の推進 地域資源掘り起しと活用の推進	催事出店者数 年間20件
④働く場の確保と雇用マッチングプロジェクト	創業支援・企業誘致の推進 空き店舗の活用による商店街賑わい創出 雇用マッチング施策の推進	企業誘致件数・従業者数 延べ3件・45人増加 新規創業者（起業家）件数 年間3件 空き店舗解消数 年間3店舗
①未来を拓く教育プロジェクト	小中学校の外国語教育とICT活用教育の充実 第2次伊豆市学校再編計画に基づく学校の整備 特色ある小中一貫教育の推進 愛郷心を育む社会教育、学校教育の推進	学校教育の満足度（児童・生徒・保護者） 85% 小中一貫校の設置 1校
②みんなで子育て応援プロジェクト	切れ目のない子育て支援体制の充実 多様な保育サービスの充実	子育て支援サービスの満足度 80% 保育園の休日保育、19時までの延長保育 2施設
③多世代交流拠点創出プロジェクト	子育て交流拠点と高齢者交流拠点の整備 幸せな暮らしを支える地域包括ケアシステムの構築	多様な世代が利用できるまちの居場所の整備件数 2件 お達者度 男性17.50、女性21.50
④豊かなくらし移住促進プロジェクト	移住希望者へワンストップ情報提供体制の構築 若者定住促進に向けた支援制度の充実	ワンストップ窓口を通じた移住件数 年間5件 ふるさと納税による寄付件数 年間200件
⑤若者交流プロジェクト	イベント開催等による出会いの場づくり	年間婚姻件数 20件増加
①コンパクトタウン環境整備プロジェクト	再編中学校を中心とした新たな住宅地創出 都市計画の見直しによる鉄道駅周辺への定住促進 修善寺駅周辺の魅力あふれる街かどの創生と交通環境の向上	都市計画見直しによる鉄道駅から1km圏内への住宅立地件数 延べ20件 歩行者空間整備箇所数 延べ2箇所
②邑のにぎわい創生プロジェクト	地域の賑わいを創出する地域振興拠点の整備 住民主体の特色ある地域づくりの推進	地域振興拠点（小さな拠点）の整備 延べ3箇所 地域づくり協議会の設立件数 7団体
③安心快適ネットワーク創生プロジェクト	公共交通機関の利用促進対策の推進 持続可能な交通ネットワークシステムの構築	高齢者バス利用助成制度利用者数 100人増 バス停及びバス待ちスペースの整備 延べ5箇所
④地域防災力強化プロジェクト	防災・災害情報発信体制の充実 住民主体による地域防災体制の強化 ハード・ソフト両面からの総合的な津波防災対策の推進	防災フリーメール登録者数 5000件 女性消防団員数 5人増加
⑤空き家・空き地活用プロジェクト	空き家活用による移住促進と空き地活用による防災拠点整備 特定空き家対策による景観の向上と防災力の強化 公共施設の適正配置と長寿命化、有効活用の推進	空き家活用による定住件数 年間5件 特定空き家への対応件数 延べ3件 公共公益施設の新たな利活用件数 延べ3件 市が管理する公共施設の延床面積 20%削減